

『傷寒論』の理解をより深めたい漢方家、 必読の書。

劉渡舟教授の薫陶を受けた著者の、
「傷寒論」の50の論題への
緻密な考察と臨床経験。

本書の特色

- ◆ 本書は劉渡舟先生を師とする著者が、豊富な知識と長年の臨床経験にもとづき、「傷寒論」の50の論題に関する緻密な考察を述べたものであり、その内容はたいへん示唆に富む。
- ◆ 「内経」「神農本草經」などの古典理論にもとづくことで、「傷寒論」の懸点や、論争の絶えない問題をすっきりと解決している。
- ◆ 「傷寒論」に記されているさまざまな病態について、著者自身の多くの臨床経験例を交えながら解説し、臨床で治療効果を発揮するための実践的な考え方を提示している。

裴永清君は師を尊敬し、学問を重んじ、古人の風格を有し、聡明で理解力に優れている。彼は、勤勉で、私の教える学問をよく継承しており、それにもとづいて臨床実践を行い、弁証論治の見解は抜きん出て優れている。また、仲景の理論を研究し、問題点を捉え、細かく分析しており、それらの多くは創見に値する。まさに世に告ぐ「實は能より出て、虚は能より實し」である。著者が著書「傷寒論臨床応用五十論」の原稿を私に見せてくれた。それは10数万語をはるかに越えるもので、歴代の注釈家より新しい見方を示していて、読むと目から鱗が落ちる思いがした。ゆえに私は、ここに喜んで序文を記す。 序文(劉渡舟 著)より抜粋

著者紹介

裴永清、1943年生まれ、黒龍江省呼蘭県出身。1978年に北京中医学院(現・北京中医药大学)大学院にて、傷寒論の大家・劉渡舟教授に師事。現在は北京中医药大学傷寒研究室教授、大学院生指導教官、主任医師。幼い頃から聡明で勉学を好み、実践を重視し、経典の医理(中医学)を深く研究し、仲景方の書物を綿密に読んだ。古今の医家の優れた点を取り入れることに努め、30余年の臨床経験を重んじて理解を深めた。高年にわたる一流の臨床経験は、信頼性の高い治療効果を収め、多くの患者の救済を受けており、著者の学問と医学経験の影響はすこぶる大きい。

臨床力を磨く 傷寒論の 読み方50の

裴永清 著・藤原了信 監訳・藤原道明・劉桂平 訳
A5判/並製/312頁/定価 本体3,800円+税



中医学を学ぶための雑誌「中医臨床」(學刊)ますます面白く、実用的な内容になっています。



東洋学術出版社

ご注文は、メールまたはフリーダイヤルFAXへ

FAX.0120-727-060